

取引先各位

トクソー技研株式会社

人工呼吸器関連肺炎(VAP)の感染リスクを低減 カフ圧自動調整器「カフキーパーDX」を販売開始

トクソー技研株式会社(大分県宇佐市、代表取締役社長:徳永修一)は、気管チューブのカフ圧を自動的に調整し、キープするカフ圧自動調整器「カフキーパーDX」を2021年7月1日より発売します。人工呼吸器を装着した患者は、挿管チューブや気管切開チューブのカフ部から換気の漏れ、唾液の垂れ込み、気管壁の圧迫等が生じて重篤な事態を引き起こす恐れがあります。

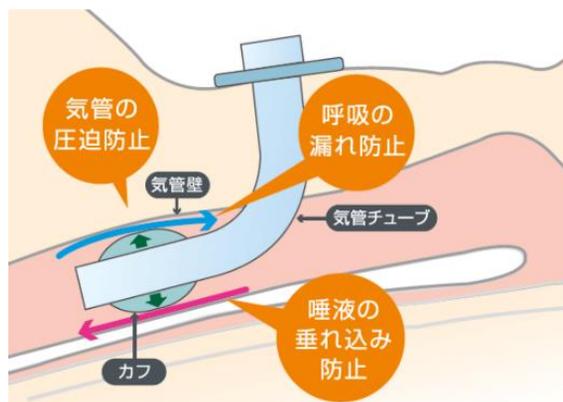
カフ圧自動調整器「カフキーパーDX」は、カフ圧を設定した圧力に調整、保持しますので、病院や在宅において安全なカフ圧管理のために貢献致します。

■特長

- ①長時間カフ圧を自動で調整、保持
 - ②エアバッグ内臓でカフ圧の変動を吸収
 - ③内部バルンサーで設定圧を自動調整、保持
 - ④内臓ポンプでカフ圧を楽々設定
 - ⑤異常低圧、異常高圧はブザーでお知らせ
- ※カフの自然脱気等の為、1日1回の補充操作が必要です。



■カフ圧管理について



①カフ圧が低い場合の問題

気管チューブ挿入中の患者は、口腔、鼻腔内の分泌物の垂れ込みや誤嚥により、人工呼吸器関連肺炎(VAP)を引き起こす恐れがあります。

人工呼吸器使用中の「空気漏れ」は換気量の低下につながり、呼吸状態の悪化になります。

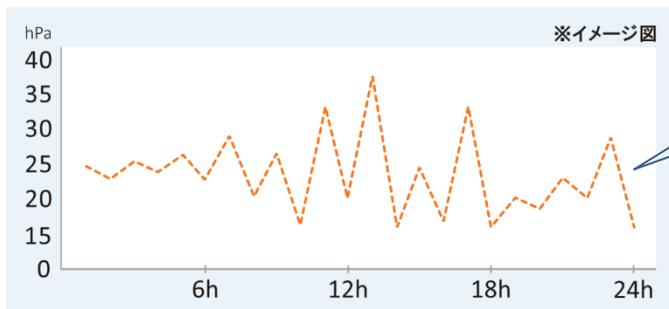
②カフ圧が高い場合の問題

カフ圧が高くなると気管壁を圧迫し、血流の中断や壊死を引き起こし、気管を拡張する恐れがあります。

■カフ圧自動調整器「カフキーパーDX」の必要性

<体動等によるカフ圧の変化>

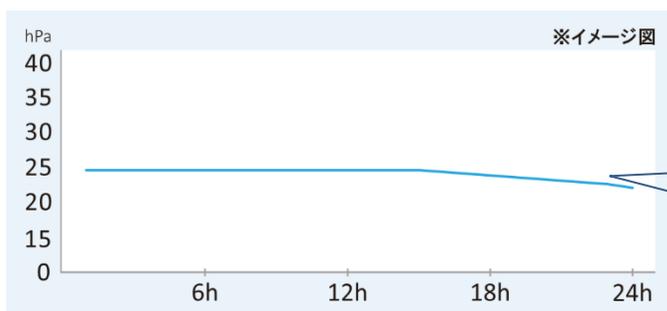
体位変換や蛇腹管の移動により、瞬時にカフ圧が変動します。



「カフキーパーDX」なし
カフ圧が日常的に変動しています

<カフキーパーDXによるカフ圧自動調整>

カフ圧は日常的に変動していますので、都度のカフ圧調整でカフ圧を常時適正圧に保つことは難しく、カフ圧自動調整器「カフキーパーDX」で24時間適正圧に保持されているのがベストです。



「カフキーパーDX」使用時
設定したカフ圧を保持します。
(自然脱気で2hpa/日程度低下)

■仕様

品名	カフ圧自動調整器「カフキーパーDX」
品番	00206A00
医療機器区分	一般医療機器
医療機器届出番号	44B2X1000100206A
一般的名称	気管内チューブカフインフレーター
測定範囲	0～70hpa
本体寸法	W85 × D75 × H175(mm)
電源	単4乾電池2本
重量	350g

■発売日 2021年7月1日

■お問合せ先 トクソー技研株式会社
営業部 マーケティングT 石田 忠
TEL:0978-33-5595
FAX:0978-33-5596
<http://www.tokso.net>